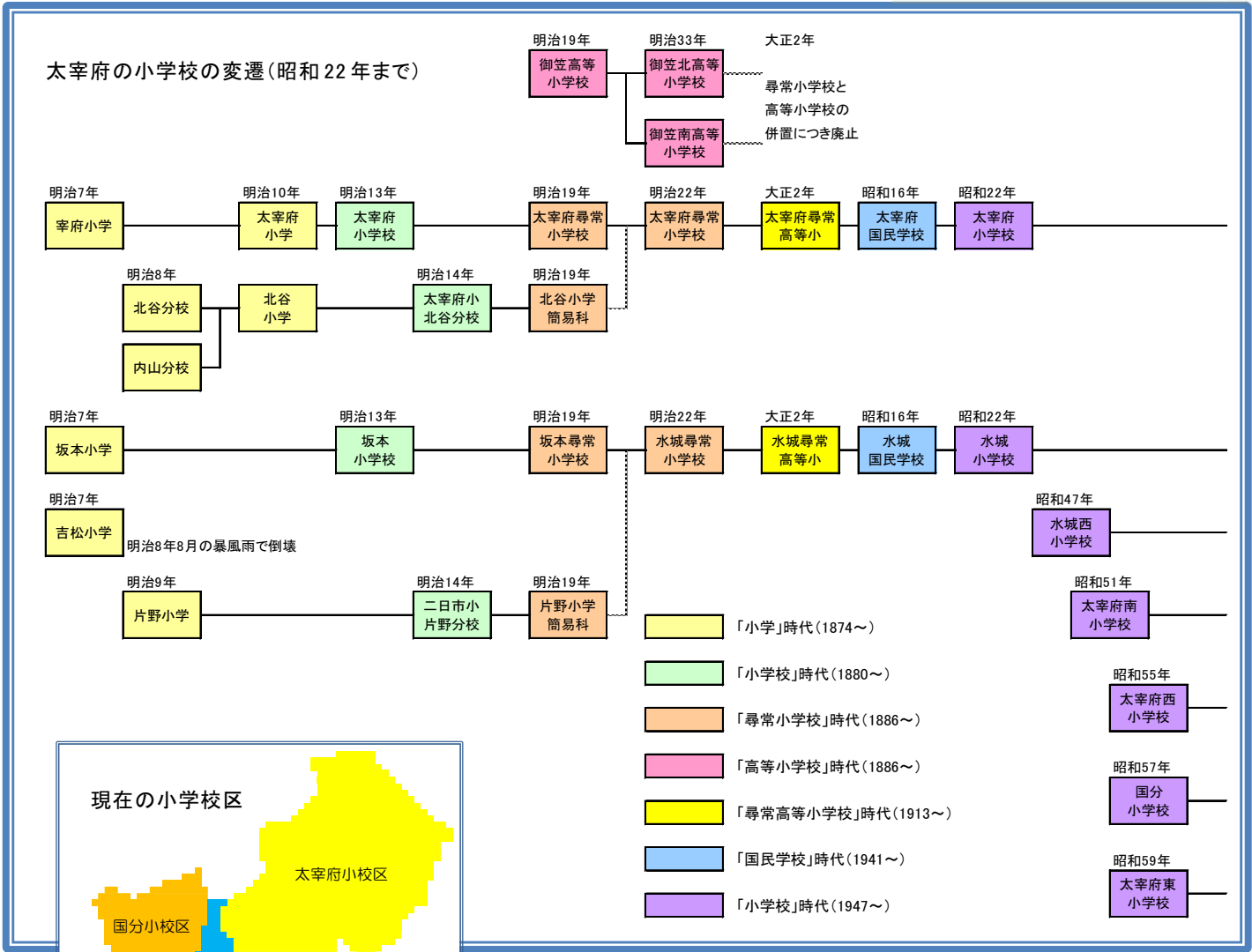


太宰府市公文書館パネル展

太宰府の小学校の歴史



■ 展示

日時：7月2日(火)～12月27日(金)
 午前8時30分～午後5時
 場所：上下水道事業センター1階ビジターフロア
 (無休、観覧無料)
 ※8月26日(月)午後1時30分から展示見学会を開催します(要申し込み)。

太宰府の小学校の歴史

明治5(1872)年に「学制」が公布されると、各地で小学校の建設がはじまりました。小学校は当時「小学」と呼ばれ、太宰府では、明治7年に「宰府小学」「坂本小学」「吉松小学」という3つの小学校が置かれます。

吉松小学は翌年の暴風雨で倒壊してしましますが、宰府小学と坂本小学は、複雑な変遷をたどりながらも、太宰府小学校・水城小学校として現在まで続いています。

小学校と学区の移り変わり

学制の下、小学は下等・上等の2段階が設定され、当初は人口600人に1小学の計画で小学校の設置が進められますが、明治12(1879)年にはそれまでの画一的な方針が改められ、それぞれの地域に合った教育の普及を目指す「教育令」が定められました。

明治14年には、それまで2段階しかなかった小学校が、初等・中等・高等の3科に分かれますが、同19年の「小学校令」では尋常科・高等科の2科となり、尋常科は義務教育期間となります。他に簡易科の設置も認められ、太宰府とその周辺でも、小学校は尋常小学校に、各分校は簡易科となり、二日市に新たに「御笠高等小学校」が建てられました(大野・水城・太宰府・御笠・山家・筑紫・山口・二日市の8村が組合を作り建設)。

御笠高等小学校はその後、就学率の増加により生徒数が増えたため、明治33年に御笠北(水城村観世音寺)と御笠南(山口村針摺)に分かれますが、大正2(1913)年に町村がそれぞれの負担で尋常小学校に高等小学校を併置するまでは組合により経営されました。

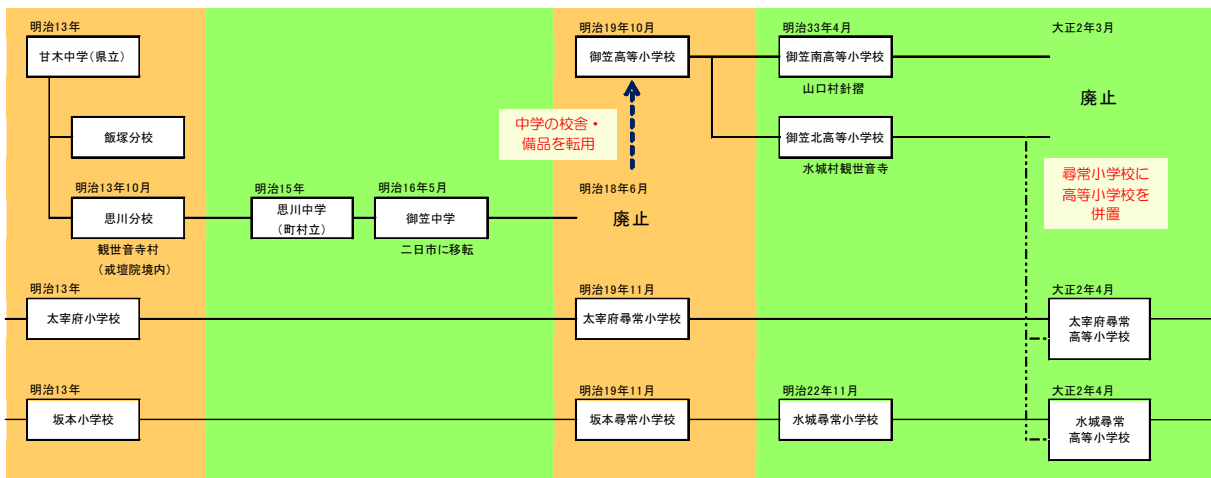
学区	小学校	所在村	村
第1	尋常	筒井	筒井・山田・畑詰・仲島・瓦田・白木原・井相田(那珂郡)
	簡易	乙金	乙金・中
第2	尋常	坂本	坂本・水城・国分・通古賀・片野・観世音寺
	簡易	下大利	下大利・上大利・牛頭・向佐野・吉松・大佐野
第3	尋常	太宰府	太宰府
	簡易	北谷	北谷・内山
第4	簡易	吉木	吉木・原・大石
		本道寺	本道寺・香園・袖須原
第5	尋常	山家	山家
	簡易	山家	
第6	尋常	筑紫	筑紫・常松・西小田・隈・若江・下見・岡田・諸田
	簡易	原田	原田
第7	尋常	山口	山口・萩原・古賀
	簡易	平等寺	平等寺
第8	簡易	針摺	針摺・石崎・永岡・立明寺・上古賀・俗明院
		阿志岐	阿志岐・牛島・天山
第9	尋常	二日市	二日市・紫・武蔵・杉塚・塔原
第1	高等	二日市	御笠郡各村

明治19(1886)年の御笠郡学区(赤字は現市域)

思川中学と高等小学校

明治 13 (1880) 年、^{おもいがわ} 県立甘木中学の分校として「思川分校」が置かれます。この分校は那珂・御笠・席田 3 郡を所管していましたが、校舎は戒壇院の境内にあり、6 畳 2 間の教室でスタートしたそうです。

その後 10 分校を廃止して町村立の中学を 9 校設立するという県の整理方針にともない、明治 15 年には公立の思川中学が誕生しますが、これは、御笠郡連合村会で高等小学校設置案が否決されたことの代替措置でもありました。翌年、思川中学は二日市に移って「御笠中学」となりますが、財政上の問題などで 2 年後には廃止となりました。使われなくなった校舎や備品は、明治 19 年の小学校令にともなう「御笠高等小学校」の設置の際そのまま転用されることとなります。

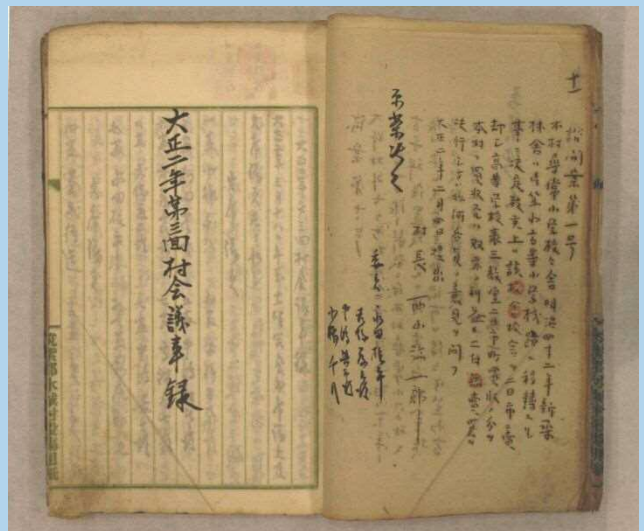


明治時代の中学校・小学校の変遷

資料紹介

公文書館では、市制施行(昭和 57 年)前までの議会議事録を保管しています。もっとも古いものは、旧太宰府町では明治 38(1905)年~40 年の簿冊、旧水城村では大正元(1912)年の簿冊になります。

大正 2 年の水城村会議事録を見ると、御笠北高等小学校の廃止後、既存の校舎を再利用して、尋常小学校に高等小学校を併設したことがわかり、その時校舎の売買について他の町村と交渉をしたことがうかがえます。



大正 2 年議事録(水城村会)

掲 示 版

行政出前講座をご利用ください!!

行政出前講座の一つとして、公文書館職員が皆さんの元に出向いてお話する講座を行っています（受講料無料）。

今年度は、新たに「新元号『令和』について」を開設しました。お申し込みはインターネットから（<http://www.city.dazaifu.lg.jp/cgi-bin/inquiry.php/51>）、あるいは申込書を公文書館までご提出ください（窓口提出でもメールでも可。）

問い合わせ：太宰府市公文書館

■G-4 新元号「令和」について

改元を記念し、新元号「令和」の典拠と太宰府との関わりについて解説します。

■G-5 太宰府市の歴史

お住まいの人々とともに「太宰府市史」からその地域の歴史を考えます。

■G-6 公文書館の案内

公文書館の役割や所蔵資料について説明します。

※日程調整の期間が必要ですので、基本的には実施希望日の1か月前までにお申し込みください。

新元号「令和」の出典『万葉集』所収の“梅花の宴”について、『太宰府市史』が詳しく解説しています!!

- ◎「梅花の宴」を詳しく知りたい場合は『太宰府市史 通史編Ⅰ』
- ◎「梅花の宴」の原文および注釈を調べたい場合は『太宰府市史 古代資料編』
- ◎『万葉集』の中で、大宰府で詠まれた歌を調べたい場合は『太宰府市史 文芸資料編』
販売価格：1冊 5,000円
（郵送の場合は送料実費が別に必要です。）
問い合わせ：太宰府市公文書館



ふるさと納税の返礼品に『太宰府市史』が加わりました。
この機会にぜひ、ご検討ください!!
154,000円の寄付金額で全巻(13巻14冊)
33,000円の寄付金額で「令和セット」
(通史編Ⅰ・古代資料編・文芸資料編)

アクセス

公共交通機関でお越しの場合は、コミュニティバス「まほろば号」（北谷回り）をご利用ください。西鉄五条駅 or 西鉄太宰府駅（太宰府線）⇒上下水道事業センター下車



ご利用の案内

閲覧時間 午前9時～午後4時30分
（閲覧のための入館は午後4時まで）
閉館日 毎週土曜日・日曜日、祝日
年末年始（12月29日～1月3日）

太宰府市公文書館通信 Vol.3

編集：太宰府市公文書館
〒818-0110
福岡県太宰府市御笠五丁目3番1号
電話：(921)2322（直通、FAX兼用）
E-mail：kibunshokan@city.dazaifu.lg.jp
発行：太宰府市
発行日：令和元年7月2日